

新型コロナウイルスによる生乳需給への影響を鑑み、直近の飲用等向けの販売状況の推移を中心に毎週発信してまいります。

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《引き続き家庭内消費は堅調～夏季の生乳需給について～》

- ・直近は全国的に悪天候が続いているものの、牛乳の家庭内消費は、以下に示すとおり、前週(6/29週)より伸び率が上昇している。ただ、前年同時期が低温による影響で消費が低調(前々年同期比90.1%)であったことを踏まえると、直近の販売状況については落ち着いた状況にあると考えられる。
- ・なお、来週以降、西日本から順次梅雨明けする見通しにあり、天候や気温の変化によっては、生乳生産量や消費に大きく影響が及ぶ可能性があるため、引き続き動向を注視する必要があると考えられる。

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI】

(1)直近(本年5月～)の動向(表①参照)

・直近(7/6週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同111.0%、成分調整牛乳：同100.7%、加工乳：同98.1%、乳飲料：同106.5%。

牛乳類トータルでは同109.1%と前年を上回って推移している。

・販売単価は、牛乳：190.5円、成分調整牛乳：175.3円、加工乳：180.7円、乳飲料：150.7円。

(2)各品目とも前週(6/29週)と同程度で推移している。

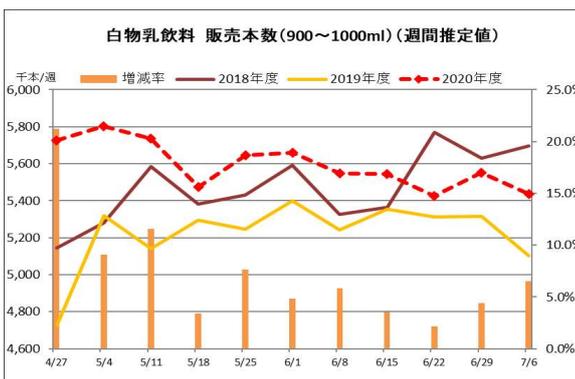
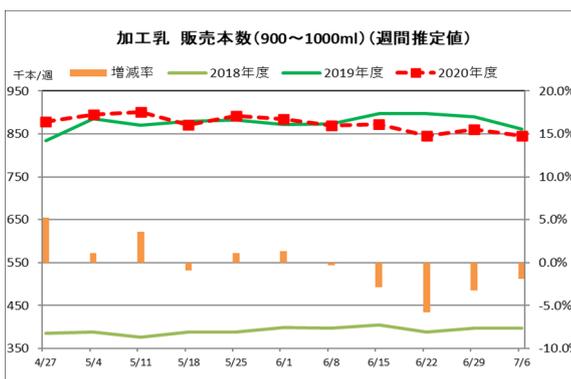
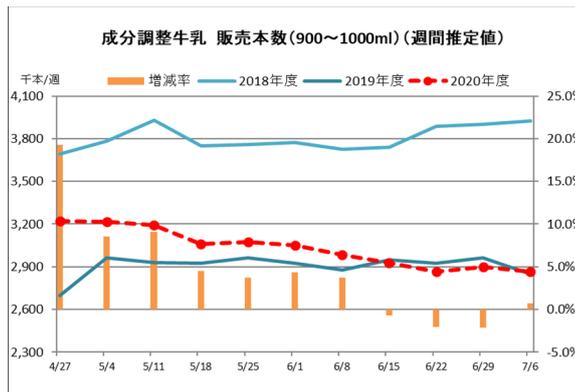
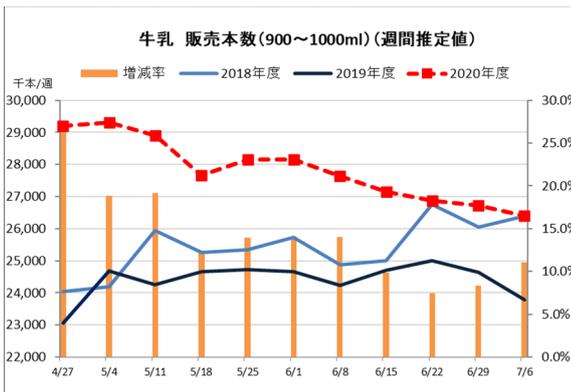
※出典 (株)インテージSRI週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(千個)

品目	区分	5.4-	5.11-	5.18-	5.25-	6.1-	6.8-	6.15-	6.22-	6.29-	7.6-
		販売個数	39,227	38,725	37,077	37,772	37,746	37,042	36,490	36,017	36,024
トータル	販売個数前年比	115.9	116.7	109.8	111.7	111.5	111.5	107.6	105.5	106.5	109.1
	販売単価	183.1	182.9	182.9	182.8	182.7	183.0	182.9	183.0	182.8	183.0
牛乳	販売個数	29,316	28,892	27,672	28,160	28,152	27,640	27,146	26,877	26,713	26,401
	販売個数前年比	118.8	119.2	112.2	113.9	114.1	114.0	109.9	107.5	108.4	111.0
成分調整牛乳	販売個数	3,215	3,195	3,060	3,074	3,050	2,984	2,929	2,868	2,900	2,867
	販売個数前年比	108.6	109.1	104.5	103.7	104.3	103.7	99.3	98.0	97.8	100.7
加工乳	販売個数	895	901	871	892	884	870	872	846	861	846
	販売個数前年比	101.2	103.6	99.1	101.2	101.4	99.7	97.1	94.2	96.7	98.1
乳飲料	販売個数	5,801	5,737	5,474	5,646	5,659	5,549	5,543	5,426	5,550	5,435
	販売個数前年比	109.1	111.6	103.4	107.6	104.8	105.8	103.5	102.2	104.4	106.5
	販売単価	151.0	150.7	150.6	150.8	150.9	150.9	150.8	150.8	150.7	150.7

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近(本年5月～)の動向(表②参照)

直近(7/6週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90～250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70～130ml):同100%以上、大容量タイプ(350～500ml):同110%以上。

(2)ドリンクタイプは前年を下回っているものの、個食タイプ、大容量タイプについては前年を上回って推移している。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	5.4-	5.11-	5.18-	5.25-	6.1-	6.8-	6.15-	6.22-	6.29-	7.6-
ドリンクタイプ	⇒	⇒	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩
個食タイプ	⇩	⇒	⇩	⇒	⇒	⇒	⇩	⇩	⇒	⇒
大容量タイプ	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩	⇩	⇒	⇩	⇩

 : 前年比90%未満	 : 前年比105%以上110%未満
 : 前年比90%以上100%未満	 : 前年比110%以上120%未満
 : 前年比100%以上105%未満	 : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※本データの収集・分析は、2020年度生乳需要基盤確保事業を活用し実施しております。

《参考情報》

- ・供給が需要上回り、「バランス崩れやすい」と指摘  
JミルクHP: <https://www.j-milk.jp/report/international/h4ogb40000047ud.html>
- ・新型コロナウイルス関連情報  
JミルクHP: <https://www.j-milk.jp/knowledge/nutrition/h4ogb4000003azz.html#hdg1>